

令和 6 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
京都府

行 事 名 称	文化財防火デー 消防訓練
実施期間・日時	令和 7 年 1 月 22 日 水曜日
実 施 場 所	木津川市加茂町例幣海住山 2 0 宗教法人 海住山寺
主 催 者	相楽中部消防組合、宗教法人 海住山寺

■実施内容

訓練の想定

海住山寺南側の山林から出火、寺関係者が発見、初期消火及ばず五重塔（国宝）及び本堂（府暫定）への延焼危険があるとの想定。

訓練の内容

檀家による火災発見、消防署通報、重要物品（模擬）の搬出、参拝者避難誘導、放水銃による放水訓練
相楽中部消防組合による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

海住山寺職員	1 名	消防署通報、重要物品の搬出、初期消火（放水銃）
相楽中部消防組合	1 3 名	全体統括、放水訓練、講評、建物内査察
訓練参加者	1 7 名	避難誘導、避難等
木津川市教育委員会	1 名	現場立会

特に工夫した点

海住山寺では令和元年以来の訓練となるため、設備等の確認も合わせて丁寧におこなった。

問題点・課題

海住山寺は五重塔（国宝）、文殊堂（重文）の他、本堂（府暫定）内にも指定等文化財を多数所有する。また一般の参拝者も多い為、住職をはじめ、檀家による円滑な避難誘導と迅速な消火活動が必須であり、今後も継続して消防訓練を行うことが望まれる。

その他

訓練風景

